



縄文名オピポーこと元文化庁の土肥 孝さんをゲストにお迎えし、開会式では苅谷俊介さん(縄文名ラマト)のリードで恒例の縄文の雄叫びをあげました。



縄文名ヨシプこと関口十日町市長より、中条の活動に対する感謝状が須藤振興会長(縄文名ボロシリ)に手渡されました。



やっほー、うまくできちゃったよ！
縄文体験がいっぱいです。



町内対抗縄文特産品コンテストが行われ、市之沢チームが笹山縄文大賞に輝きました。飛渡地区からも新水、三ヶ村のみなさんから参加いただきました。どのチームもすごい！



苅谷さんといっしょに縄文マラソンのスタートです。



竪穴住居を出て、狩りに向かう縄文びと



おいしいどんぐりクッキーが焼けるよ。



第10回 笹山じょうもん市

H21.6.7

縄文の魂を呼び覚まそう！



宇梶静江さん(縄文名バシクル)がアイヌの子守歌を歌ってくださいました。



国宝火焰型土器が里帰りしました！
縄文館の特設会場で国宝が展示されました。



さわがにレースも始まるぞお。



縄文館(スポーツハウス)では第1回からのじょうもん市の写真展が開かれました。



みんなが自分の縄文名をつけて木のネームプレートをさげました。



町内・一般フリーマーケットは大にぎわい！



笹山ででっかい愛と夢を叫んじゃうぞ。
笹山雄叫び大会です。





中条の若いしょたちが巨大火起こし機で縄文の焔を起こします。



見事にともりました！



苅谷俊介さん(縄文名ラマト)のリードで縄文の雄叫びです。大地と人がひとつになります。おおおおおおお！



五十嵐正子さん(縄文名jugugrandar)のオカリナの音色が縄文の丘を流れていきます。



中条小学校の子どもたちが力いっぱい打ち鳴らします。笹山縄文太鼓です。



フィナーレの笹山火焰太鼓をみんなで打ち鳴らしました。縄文広場では大きな踊りの輪ができました。



中条に古くから伝わる伝統芸能「大の坂」。会場のみなさんで輪になって踊りました。



そして、おとなたちと子どもたちによる笹山火焰太鼓が響き渡ります。作曲は鼓童の山口幹文さんです。



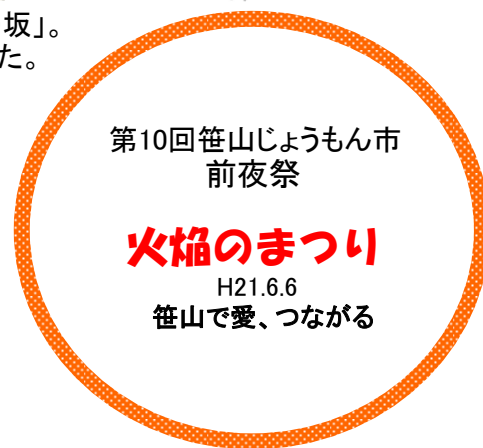
火焰のまつりには約50名の国際大学のみなさんが参加してくださり、いっしょに歌い、踊りました。



いなほ会のみなさんによる「縄文音頭」です。かがり火の中でとても幻想的でした。



飛渡あわせおけさ保存会のみなさんが「あわせおけさ」を踊ってくださいました。



火焰型土器を中心に大きな輪になって、太鼓に合わせて、縄文のダンスをみんなで楽しみました。笹山縄文の人たちも4, 500年前、この場所でずっと踊っていたのでしょう。



鼓童の山口幹文さん(縄文名ヤジン)と小見麻梨子さん(トキ)の演奏に合わせ、プロダンサーの妻木律子さん(ツキリコ)と松崎友紀(キュ)さんが踊ってくださいました。



アイヌの古布絵作家・宇梶静江さん(縄文名パシクル)と石川京子さん(カムイチカップ)がアイヌの歌と踊りを披露してくださり、会場のみなさんで歌い、踊り、今に生きる縄文の魂を感じました。



榮太鼓のみなさんのすばらしい演奏に圧倒されました。



縄文名クリティ・イ・ヌン山崎さん。長岡造形大学の大学院生です。
みごと「笹山縄文ファッション大賞」に輝きました。
♥トビ精霊。衣装のデザインがすばらしい。衣装として完成度高し。



島チームのパフォーマンスです。
♥少人数で盛り上げてくれた。宇宙的パフォーマンスgood！



中条小学校4年生チームです。「アイデアが見事だっけんが賞」を受賞しました！
♥とても可愛い縄文時代の子どもたちでした。いろいろ調べたで賞。



かわいい下町チーム。「縄文の美に感動したっけんが賞」でした！
♥中条の宝が可愛い。衣装デザインがステキ。ステージ上
に
いるだけで満点。



相模から来てくださった星名さん。
♥エコうったえ。意気込みが○。

笹山が夢になる

第10回
笹山じょうもん市

笹山縄文衣装
コンテスト



写真説明の中の♥マークは審
査員の方々のコメントです。



中条中学校1年生の「縄文キティ」です。
♥中学生の女の子らしかった。縄文キティかわいい！



市之沢チームの楽しい寸劇です。
♥衣装のデザインがステキ。赤のとりにこみがgoodです。



ダンサー松崎友紀さんの縄文語パフォーマンス。
♥パフォーマンスが○。



団結力がすばらしい塚田チームです。
♥衣装がとても工夫していて良い。葉っぱを持ったのはOK。



新潟からやってきた縄文シスターズの
ムボポさんとトマッティさんです。
♥エコのアイデアがいい。パフォーマンスがいい。



アイヌ文化の根源には縄文があるといわれます。平和を尊び、自然を畏敬し、すべてのいのちとともに生きるアイヌ民族の豊かな文化と、その中に生きる縄文の精神に触れることができたような気がします。



絵本「トーキナ・ト」の原画となった古布絵作品のひとつです。



すばらしい作品に感動です。



アイヌの着衣 アミップ。

イラムカラステ 今に生きる縄文の魂 ～アイヌの精神世界にふれる～

第10回笹山じょうもん市
プレイベント

宇梶静江さん
アイヌの古布絵展

H21.5.30～5.31
十日町情報館



宇梶静江さんプロフィール

1933年、北海道浦河郡に生まれる。アイヌの伝統刺繍を古布に施し、自然と生命の尊厳を主題に、独自の表現技法で“アイヌ古布絵”を創作。ダイナミックな全体構成と独創的なアイヌ文様の一針一針には、強い精神性と鋭い感性が縫いこまれている。特に最近では自然を神と敬う日本の縄文の心を追い求め、そこから縫い合わされる詩情豊かな表現に満ちた作品は海外でも高く評価されている。また、アイヌ民族のリーダーの一人として、これまでのアイヌの復権運動を伝えるとともに、作品制作と後継者の育成に努めるなど、アイヌ文化の普及及び伝承・保存に大きく貢献している。俳優の宇梶剛士さんは息子さん。



宇梶さんの絵本、「シマフクロウとサケ」、「セミ神様のお告げ」、「トーキナ・ト」の3冊です。



アイヌの家紋。部族によっても山野、海洋民等ルーツが記されています。



宇梶さんの古布絵作品の絵はがきも展示されました。



アイヌ文様のアミップとタペストリーが並びます。



アイヌ文様のタペストリー。深く縄文をも感じる方がたくさんおられました。



2日間で200名近い方々がおいでくださいました。